

府改造

吏ノ翻書及ヒ陳述其他証據物件トハ何等ノ事項何等ノ証據物件ニシテ被告事件ノ証憑ト爲スコ足ルヤ否ヤ一件書類中觀ルヘキノ廉ナシ則ナ被告ガ罪證充分ナラサルモノトス隨テ刑ヲ適用スルニ由シナキモノナルニ原裁判所カ被告ヲ有罪トシ刑ヲ適用シタルハ擬律ノ錯誤ニ係ル不法ノ首渡ナリトス仍テ治罪法第四百十條第十項ニ相當スル破毀ノ原因アルモノニ付罰第四百二十八條第四百廿九條ニ據リ原首渡ヲ破毀シ本院ニ於ク直ニ裁判スル左ノ如シ
判決
大審院ニ於テ檢事武内維積立會宣告ス

ル所ノ石屋モ後日亦タ門前雀羅ヲ設クベキ者トナラザル
ナキヲ保シ難ク終ニ鐵橋ノ鐵ヤ石屋ノ石ヤ俱ニ是レ不然
質不朽体ニシテ千百年ニ持續スベキノ物ナルニモ拘ハラ
ズ其ヘンキ「未ダ乾カズ」モルタル「尚ホ濕フノ時ニ於ア早
ク既ニ之ヲ取り崩サハルチ得ザル者アルニ至ランモ未タ
知ルベカラズ左レバ若シ我東京モ米國ノ華鎌原府イ相ク
又タ日耳曼ノ別林府ノ如ク千百年後ノ計算ナ千年前ニ
定メテ精密ナル改造ノ測量地圖ヲ製シ一本モ苟モ立テ大
一石モ苟モ置カズ多少ノ建置經營モ皆ナ此圖ニヨラザル
ナキニ至ル「ナシノハ滿都在ル所ノ千橋萬屋之ヲ石ニス
ルモ之ヲ鐵ニスルモ一モ皆ナ永久ノ性質ヲ有スル能ハズ
シテ終ニ假設ノ物タルナ免カレザルベシ當府改造ノ測量

東京ハ日本帝國ノ首府ナリ殖民地ノ村落ニトラザルナリ
明治千百年持続スベキノ帝都ナリ一時ノ假住地ニアラ
ザルナリ唯タ其レ然リ故ニ之ヲ故造スルニ當リテハ千百
年ノ計畫ヲナサムルベカラズ英人某曾テ嘲テ曰ク羅馬ハ
古都ナリ故ニ往時曾テ壯麗ノ建物ヲ建テシ地ヲ存ス華盛
頓ハ新都ナリ故ニ未來ニ壯麗ノ建物ヲ建ツベキ地ヲ存ス
両者共ニ其閑散空虛ナルハ一ナリト然レ毛羅馬ノ往時ニ
壯麗ノ建物ヲ建テシ地ヲ存スルハ暫ク論セズ華盛頓府ノ
未來ニ壯麗ノ建物ヲ建ツベキ地ヲ存スルガ如キハ誠ニ千
百年後ノ計畫ヲ千年前ニ課定シ整然トシテ紛雜スル所
ナカラシムルモノニシテ新ニ大都ヲ築ク者ノ爲サムルベ
カラザヘ所ノ者ナリ豈ニ其當時ニ閑散空虛ナルナ以テ之
ヲ嘲ケルベケンヤ且ツ近時日耳曼ニ遊ブ者ノ言ナ聞クニ
別林ノ庶外數里ノ地麥畦菜畝縱橫スル處ニ幾個ノ標柱ヲ
立テ某街某番地ト記スナ見ル之ヲ路人ニ問ヘハ曰ノ是
未來ニ別林府ノ市街タルベキ處ナリト云ヘリト今ヤ東京
ハ日本帝國三千六百万人ノ首府ニシテ明治千百年ニ持続
スベキ帝都ナルニ改造ノ測量地圖ヲ製シテ以テ豫メ千百
年ノ計畫ヲ爲サマルハ勿論十年ノ計畫モ尙且ツ定マラザ
ルが如キ有様ナルヲ以テ都人ガ家ヲ造リ橋ヲ架シ道路ヲ
修築シ河渠溝港ヲ開墾スル皆ナ漠然タル無形ノ推測ト當
時ノ出來キ心トヨロザルナキ能ハズ故ニ若シ其第造ス
ル所ノモノ僥倖ニシテ地ノ冷熱ト商業ノ盛衰トニ適合セ
ハ制ナリト雖に彼ノ無形ノ推測ト當時ノ出來キ心ト
ノ間連ヒ易キハ物ノ道理ニシテ東京ノ商勢ハ其々ノ會社
獨々ノ建物等ノ新設セルヨリ毎歲多少ノ變遷アリシハ
既往ノ經驗ニ識シテ知ル所ナルナ以テ一朝不幸ニシテ冷
感處ヲ換ヘ盛衰場ヲ異コソ去年然地ヲ架スル房ノ鐵橋モ

ル所ノ石屋モ後日亦タ門前雀羅ヲ設クベキ者トナラザル
ナキナ保シ難ク終ニ鐵橋ノ鐵ヤ石屋ノ石ヤ俱ニ是レ不然
質不朽体ニシテ千百年ニ持続スベキノ物ナルニモ拘ハラ
ズ其「ベンキ」未ダ乾カズ「セルタル」尚ホ濕フノ時ニ於テ早
ク既ニ之ヲ取り崩セハルナ得ザル者アルニ至ラソモ未タ
知ルベカラズ左レハ若シ我東京モ米國ノ華盛頓府有相ク
又タ日耳曼ノ別林府ノ如ク千百年後ノ計蓋ナ百年前ニ
定メテ精密ナル改造ノ測量地圖ヲ製シ一木モ苟モ立テス
一石モ苟モ置カズ多少ノ建置經營モ皆ナ此圖ニヨラザル
ナキニ至ルトナクレバ滿都在ル所ノ千橋萬屋之カ石ニス
ルモ之ヲ鐵ニスルモ一モ皆ナ永久ノ性質ヲ有スル能ハズ
シナ終ニ假設ノ物タルナ免カレザルベシ當府改造ノ測量
地圖豈ニ製セザルベケンヤ

近時歐米ニ於テ都會ヲ第ノ者ハ交通ノ便ト守衛ノ利トヲ
要トシタリ那勃翁三世帝ノ巴黎府ヲ改造スルヤ寧ラ守護
ノ利ヲ謀リ確臺以テ之ヲ周ラシテ巍然タル城郭ナシ敵
ノ郭門ニ入ラントスル者ニ向テ左右ノ確臺ヨリ十字線形
ニ放發スルノ工夫ナシ苦心實ニ此點ニ盡シクリト勝也
普佛戰爭ノ一舉普軍ノ大砲ハ遙ニ此十字放發ノ線外ニ在
リテ城内ノ佛軍ヲ亂擊シタルナ以テ那勃翁帝カ金湯ノ城
池トシテ恃ミ切リタル十二砲臺モ終ニ其効ナシスルト能
ハザリシ爾來都會ノ建築ニ守衛ノ利ナ謂フモノナク卓ニ
交通商業ノ便ナ是レ謀ルトナレバナリ

東京ノ都會ハ昔時幕府竊廷ノ在ル所三百諸侯ノ興廟建近
四方ニ割據シテ其組織ヲ成セシモノナルガ故ニ築城ノ市
街屈曲斷續シテ毫モ貫通スル所ナシ冷鮮華表ノ地交御
難シ紛擾モ亦極レリ故ニ商家ノ地ナトシ居ラ拂フモノ大
抵皆ナ交通ノ便宜ヲ察シ商業ノ都合ヲ拂アリ吉ノナク卓ニ
同運輸會社ノ本局ヲ箱崎町ニ置キ日本鐵道會社ノ事務所
ヲ築地ニ新築セントシ又ク日本銀行ト十五銀行ノ各々家
業ノ機關タル驛送局ノ日本橋ニアルコモ約ラズ中央電信
局ノ獨采女町ニアルガ如キノ不變ヘ指ナ論セ大近日英
便地ヲ擇シテ之ヲトヘルト能ハザリシモノナルヘシ若シ
ナケレバナリ久或ハ曰ク運輸會社ノ箱崎ニ於ク日本鐵
橋ニ於ケル皆ナ日本橋ヲ距シ十數アリ總方丈半數丁ノ間
ナ隔ツ道ニ中央ニ築近セアルモスト西洋ム多カウル港ナ
シ加ツルニ十數アリ總方丈半數丁ノ間方丈半數丁ノ間
ナ高レ馬路外壁モ大細ニ作成セ共に其壁之堅度又其壁

數丁ナ以テス是レ道程ナ二倍ニスルモノヨリセナリ
シ其レ輕々道程ナ二倍ニシテ亦ク免カレ難キ處ナルベ
ニ遠キナ加フルナ覺フルハ亦ク免カレ難キ處ナルベ
ナ處フ其間ノ運費實ニ二倍ノ多キナ加フルハ勢ノ
然ル所ナルベシ左レバ海陸運輸銀行等ノ諸商社ナシ
ア單ニ依ノ甲掛ケ脚手草鞋掛ケコト出京マ來ル所ノ
田舎者ノモタリ相手ニスル者ナラシムレハ則チ可ナリ
ト雖ニ若シ夫レ甚相手ナシテ時是レ金ノ筈語ニ從テ
難儀活潑萬機ナ算籌ノ間ニ争ント欲スル者ナラシム
レバ則チ斯ル東京ノ農田舍ニ僻在スルヲ以テ可ナリ
トスベケンヤ故ニ先シ速カコ東京改造ノ測量地圖ナ
製シ豫メ中央市區ノ形畫ヲ定メ以テ此等商賈ナソ競
フテ交通便宜ノ地ニ居ナトシ活潑ノ商業ナ日本ノ帝
都ニ營スルヲナ得セシメシ我輩ノ希望ニ堪ヘサル
供スル「然」

一八九〇年上海市區改更法

ナマイク新聞ニ就テ「バヅロウ」氏ガ考案ニ係ハル市
區改良法ナ一見シタルヲ以テ取敢エズ之ヲ左ニ抄譯
シ東京中央市區改定ノ責ニ任スル各當局者ノ參考ニ
供スル「然リ」

レバ則ナ斯ル東京ノ農田舍ニ僻在スルヲ以テ可ナリ
トスベケンヤ故ニ先シ速カコ東京改造ノ測量地圖ヲ
製シ環メ中央市區ノ形畫ヲ定メ以テ此等商賈ヲシ競
フテ交通便宜ノ地ニ居ナトシ活潑ノ商業ヲ日本ノ帝
都ニ營スルコト得セシメソ「我輩ノ希望ニ堪ヘサル
所ナリ」

シ其レ率々返程ナ二倍ニシテ亦タ甚ク遠キテ加フル
ナ覺フ其間ノ通運費貰ニ二倍ノ多ヤナ加フルハ勢ノ
然ル所ナルベシ左レハ海陸運輸銀行等ノ諸商社ナシ
テ單ニ放ノ甲掛ケ脚半草鞋掛ケコテ出京マ來ル所ノ
田舎者ノミタ相手ニスル者ナラシムレハ則ナ可ナリ
ト雖ム若シ夫レ其相手ナシテ時是レ金ノ箴語ニ從テ
唯積荷置カズナシテノ間ニ争ント欲スル者ナラシム

少加ヘサルヘニ然レハ都下十万ノ選之ニ加フルニ
數丁ナ以テス是レ道程ナ二倍スルモノニシテ爲メ
ニ遠キナ加フルナ覺フルハ亦ク免カレ難キ成ナル

遠サカルニ從ヒ次第ハ稀少トナルナリ故ニ此有様日
リ考ルキヘ圓形ノ市區ナレバ周圍ノ各地ヨリ中央ニ秘密ニシテ之ニ
ニ直線ノ道ヲ幅狭セシムルヲ得ベタ又中央ニ遠サ
カルニ從ヒ次第ニ宅地ノ面積ヲ廣クスルヲ得ベタ
レハナリ此等幾何學上ノ性質ヨリ推スニ一府ノ中心
ニシテ人口ハ極メテ稠密、地價ハ極メテ高ク、往來交
通ハ極メテ自在ナルヲ要スル中央市區ヘ六角形ヲ以
テ最上トスベシ但シ此中央區中ニ數箇所ノ空地ヲ存
シ紀念碑ヲ建テ墳木盤ヲ置ク等ノ場所トナスベシ此
六角形ノ中央區ノ外圍ハ馬車幾輒ナ併ヘテ駆スベキ
程ノ大路ヲ設ケテ一周セシメ又此大路外ノ市區ハ皆
曲線ノ道路ヲ作ラザル様ニ注意シテ十分圓形ナラシ
ムルナ好トスノ如クスレバ中央區外各集落ノ要衝
ハ何レモ直線ニ中央區ニ集マリ或ハ直線ニ或ハ少許
ノ屈曲ヲ以テ中央區ヲ横断シテ進行シ且ツ各集落市
街ノ仕組ハ稍四角形ニ構造スルヲ得ベシ又横道ハ
中央區ナ遠サカルニ從テ次第ニ其距離ヲ増シ宅地ノ
面積ヲ廣クスベシ左ノ圖式(次號ニ載ス)ハ以上ノ主
義ニ從テ製シタルモノナリ

(以下次號)

報 雜

○即位式 魯國皇帝の即位式ハ一昨廿七日を以て執
行ナリたるケ在聖、比德堡伊藤參議より昨朝其筋ヘ
達シタル電信ふ冠戴式満足ニ相濟みよりとなり
由同國虛無黨ケ環て陰謀の企てあるも滞りあく此大
禮を了りふるハ誠とよ目出度事ニ_{云々}

○御本廟廢王 同王には一昨日午前八時新橋發の漁
船ふて横須賀ヘ赴クられ造船所を巡覽ありて昨日御
歸館ありたり

○神殿供物 來る六月一日神宮宇神殿の月次祭ふ付
新宿植物御苑ふて成熟せし本年の新麥及黃瓜、茄子
等を獻供すヘシ官宮内卿より該處へ通わりたり

○松方太藏卿 同卿大坂出張れとい環て記載せしが
愈明三十日横濱解稅に立海丸ふて出發するよし今回
同卿の御用は造幣局の造幣試驗并ふ日本銀行支店開
業式に臨む爲めありと云ふ

○田邊宮崎縣令 新任宮崎縣令田邊輝實君ふへ來六
月四日當地を出發任地へ赴くよし

報
雜

義ニ從テ製シタルモノナリ (以下次號)

街ノ仕組ハ稍四角形ニ構造スルヲサ得ベシ又横道ハ中央區ヲ遠サカルニ從テ次第ニ其距離ヲ増シ宅地ノ面積ヲ廣クスベシ左ノ圖式(次説ニ載ス)ハ以上ノ主

ハ何レモ直線ニ中央區ニ集マリ或ハ直線コ或ハ少許ノ屈曲ヲ以テ中央區ヲ横断シテ進行シ且ツ各集落市

程ノ大路ヲ設ケテ一周セシメ又此大路外ノ市區ハ
曲線ノ道路ヲ作ラザル標ニ注意シテ十分圓形ナラシ
ムルナ好トス斯ノ如クスレバ中央區外各築路ノ要箇

テ最上トスペシ但シ此中央區中ニ數箇所、空地ヲ存シ紀念碑ヲ建テ墳木盤ヲ置ク等ノ場所トナスベシ此六角形ノ中央區ノ外圍ハ馬車幾輦ヲ併ヘテ駆スベキ

レハナ、此等幾何學上ノ性質ヨリ推スニ一席ノ中心ニシテ人口ハ極メテ稠密、地價ハ極メテ高ク、往來交通ハ極メテ自在ナルヲ要スル中央市區ヘ六角形ヲ以

一 直線ノ道ヲ駆凌セシムルコト得ベタ又中央ヲ遠サ
カルニ從ヒ次第ニ宅地ノ面積ヲ廣クスルコト得ベケ
ルナリ此等ノ地ニ生貢リ一筆ハニ

先ニ近接セントル從テ人口ヘ中央ニ稠密ニシテ之ニ
遠サカルコ從ヒ次第ニ稀少トナルナリ故ニ此有様
リ考ル所ヘ圓形ノ市區ヲ以テ蓋タ適當ナルモノト大

○退出时限 宮内省よりても六月一日より
出頭午後二時退出と改めするゝよ
○資葉検査 東京府より資葉検査を乞
を出張せしり昨今事ら取調中あるよ
○海賊臨時試験 農商務省管船局にて臨
員臨時試験を行ひ關本治兵衛ハ乙種三等
保田床三郎は小形機関手ふ及第し外一等
といふ

○高砂丸 三菱會社持の漁船高砂丸ハ上
底塗替の爲め來る六月一日入渠同地滞在
より農商務省へ届出たり

○水產集談會閉場 木挽町舊明治會堂上
し水產集談會は兼て其筋より下附になん
題お附た會員各意見を吐露し丁りさるを
六日閉場式を執行せられ昨日ハ會員一同
館へ招待して饗應されたり又右閉場の節
説ハ左の如し

本會ノ開場ニ方リ 不肖和我大日本水產
囑ナ辱フシテ會長ノ任ニ當リ 親ク諸君
ニ相見ヘ諸君ノ説ナ聽ク茲ニ五日諸君
セスシテ會場ニ上リ四條ノ問題ニ對シ
アル所ナ隙フル若實剝切ナリ平素其業
ノ厚キニ非ラサルヨリハ奚ソ能ク此ニ
ヤ閉會ニ際シ薄カ諸君數日ノ勞ナ慰シ
益々其業ニ勉勵アランコナ希望ス

明治十六年五月廿六日

大日本水產集談會長 柴

水產集談會本日ナ以テ終ナ告ク抑モ水
ル改良ナ加ヘ進歩ヲ圖ルノ途ニシテ
説キ之ナ談スルノ事件亦屈指ニ勝ヘス
ノ日子能ク盡ス所ニ非ラス故ニ四ヶ條
シテ當務ノ急ナルナ擇フト雖而モ其
甚々難シトス是ナ以テ題意或ハ未タ各
務ノ篤キト其秘奧ナ吐露スルノ客ナラ
所ナリ各地老練篤業ノ士アル業已ニ如
他日本水產ノ興起セサルナ憂ヘン遠平
ニ依リ親ク本會ニ就キ各國ノ談話傍聽
得タリ而ノ其詳細ノ報告ハ不日本會ヨ
可レト雖ニ予モ亦此實況ナ復命スヘシ
國ノ勞ナ慰ス

明治十六年五月廿六日

農商務省權少書記官 片